

ヘルシーワークプレイス

福利厚生の実態調査

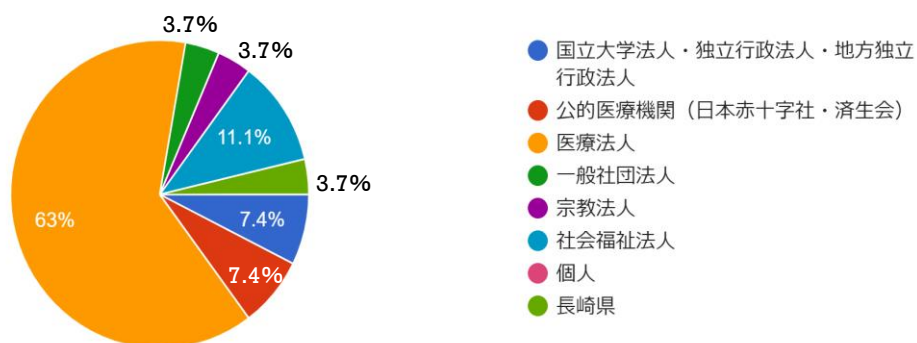
長崎県看護協会県南支部 職能委員会

福利厚生には健康保険などの「法定福利厚生」と、病院が独自に採用している手当や従業員支援の「法定外福利厚生」があります。

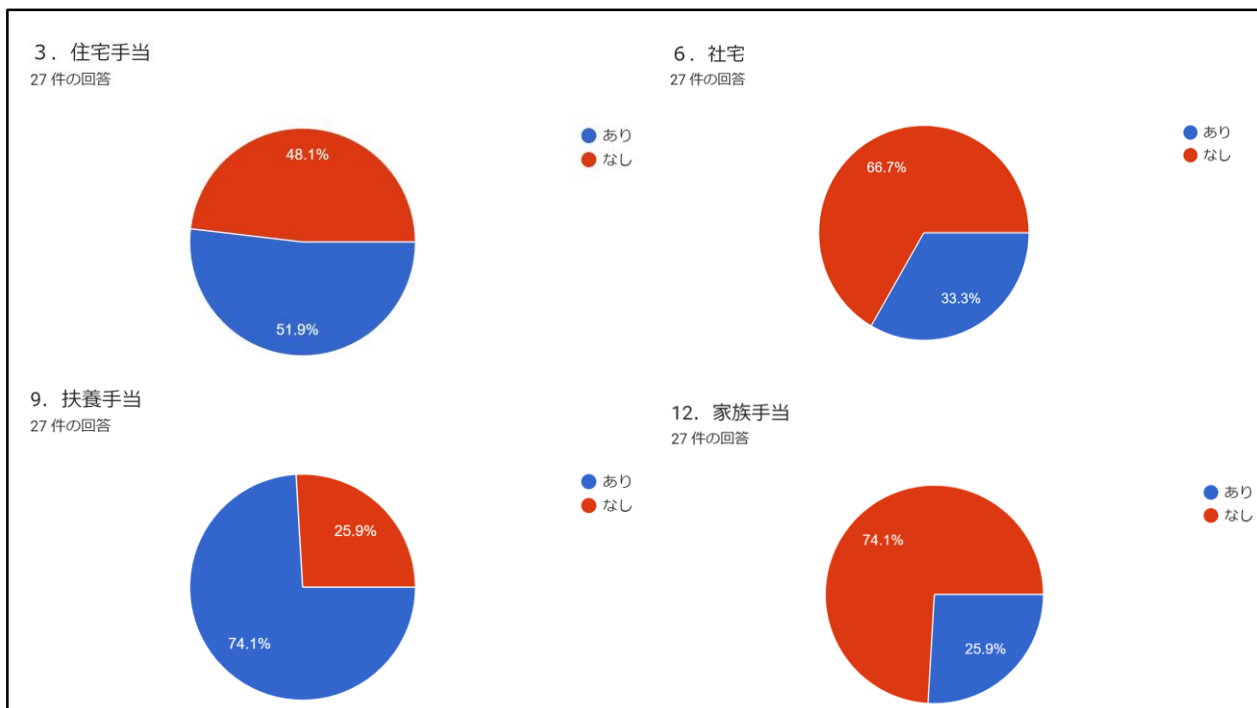
今年度、職能委員会では日本看護協会がかかげている「ヘルシーワークプレイスの実現に向けた活動」の一環として、県南支部の医療施設が実施している福利厚生について、法定外の福利厚生を主として調査を行いました。

1. 設置主体を一つ選んでください。

27 件の回答



アンケートは105施設へ配布、27施設から回答、回収率は26%。
設置主体は医療法人が最も多い回答。



青色が福利厚生「あり」、赤が「なし」を示しています。

住宅手当は約5割が支給（51.9%）

金額は1000円から28500円。

（対象者は全職員、正社員のみ、医師のみと限定している施設もあった）

社宅ありは約3割。

（支給額は最低2000円～最高33000円でした。内容は、自社社宅だったり、借り上げ住宅、県公舎などであった。）

扶養手当は約4分の3施設が支給。

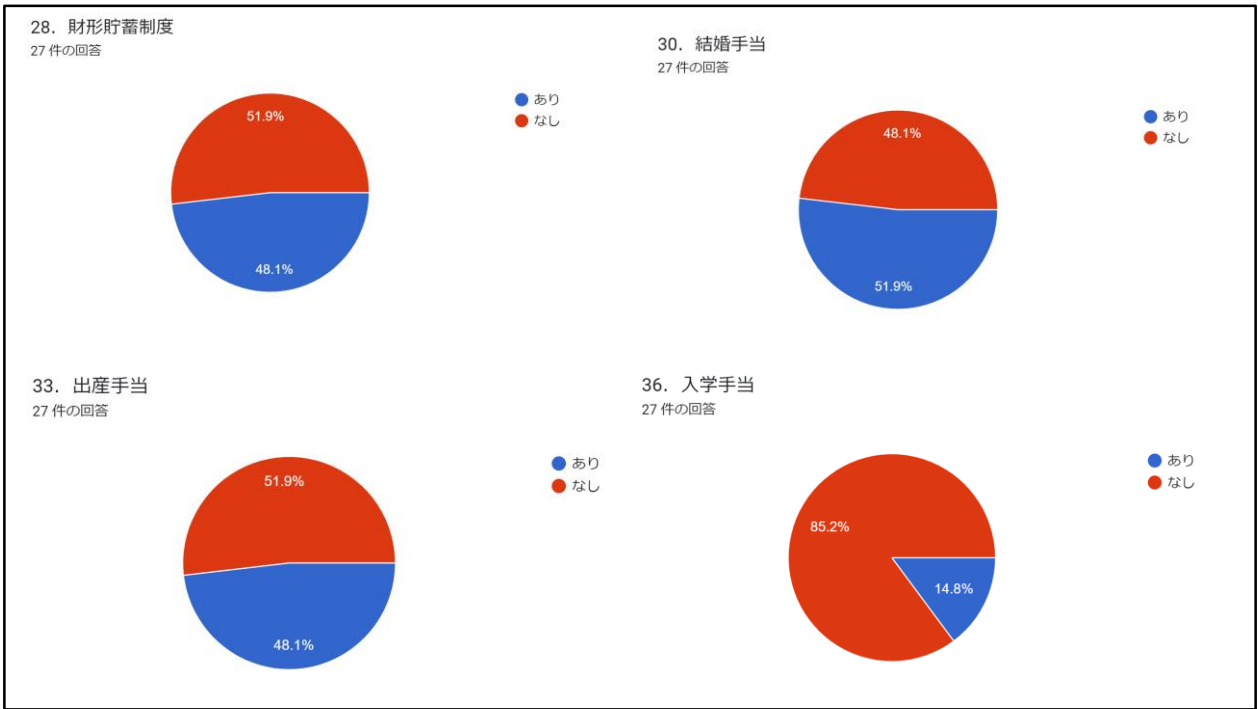
支給額は1000円～16000円 で一人目と二人目、年齢などで金額を変えているところもあった。

（対象者は、扶養配偶者や子供、同居の親、そのほかの扶養親族など。）

家族手当は約4分の1施設が支給。

金額は2000円～10000円。

（一人目と二人目で金額に差があった。扶養手当とは別の手当。）



財形貯蓄制度は約5割の施設が実施。
確定拠出年金、生命保険会社、銀行系の貯蓄制度を利用。

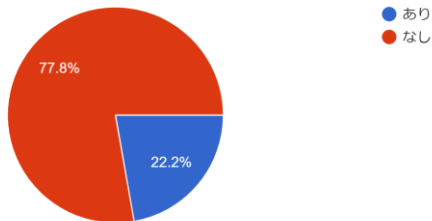
結婚手当も約5割の施設が支給。
支給額は10000～ 5 0000円。

出産手当も、約5割の施設が支給。
支給額5000～60000円。

入学手当は、14.8%支給。
支給額は3000円～15000円。
小、中学校入学のときに支給。

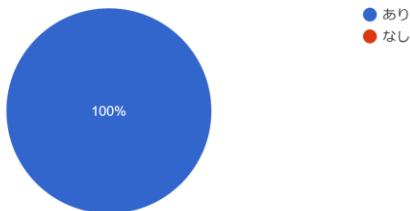
18. 社内食堂・食事補助

27 件の回答



21. 通勤手当

27 件の回答



社内食堂・食事補助22.2% があり。

食事補助金、なし～月6000円。

（内容は社員食堂を利用者のみ、格安で食事を提供している。金額は様々であった。）

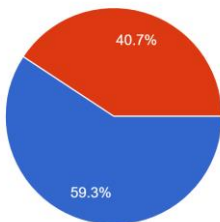
通勤手当100%至急。

支給額は10000円～55000円で、上限なしというところもあった。

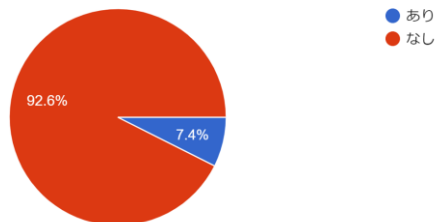
（送迎バスがあるところもあり。駐車場代の支給限度額は、自宅からの距離で判断しているところが多かった。

駐車場代が無料や補助金が出るところもあり。）

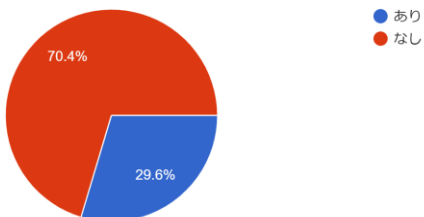
42. 弔慰手当
27 件の回答



48. 遺族年金
27 件の回答



45. 災害見舞金
27 件の回答



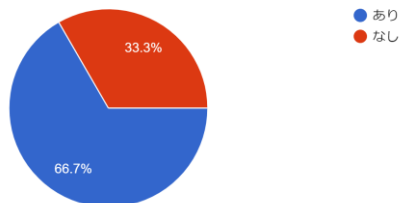
弔慰手当、59.3%支給。
5000円～が多く、何親等かで額の変動があった。

遺族年金は、7.4%支給。
(金額の回答はなかった。)

災害見舞金は約3割が支給。
5000円～10万で、災害の程度で決定していた。

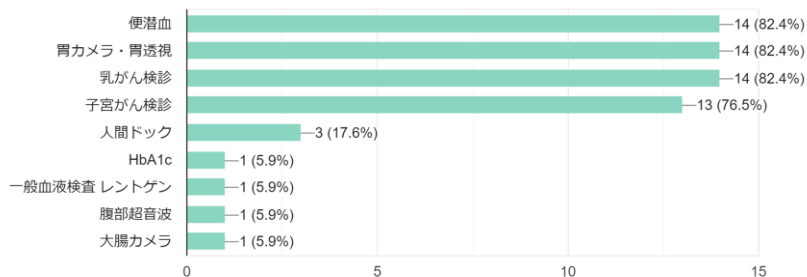
15. 法定外健康診断（付加健診）

27 件の回答



17. 健康診断内容

17 件の回答



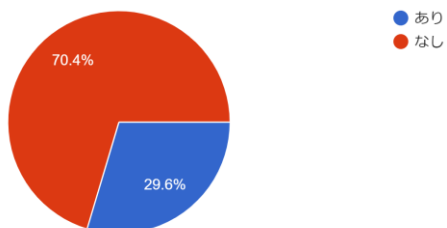
法定外健康診断66.7% 実施。

支給額は2500円～30000円。全額補助のところもあり。

内容としては便潜血、胃カメラ、胃透視、乳がん検診、子宮がん検診が多かった。

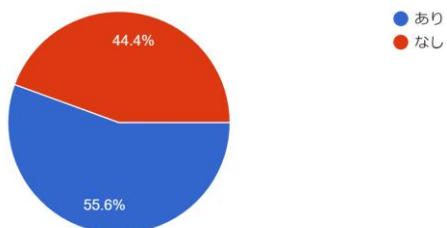
51. 社員旅行

27 件の回答



54. サークル活動

27 件の回答



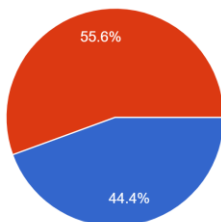
コロナ禍による制限はあったが、コロナ前は、社員旅行は約3割の施設で実施。

補助額は3000～30000円程度

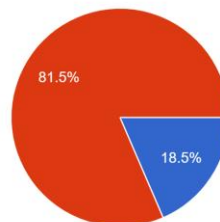
サークル活動は約半数が実施。

（補助額がないところもあれば、最高上限が10万のところもあり。開催回数によって、金額の変動あり。）

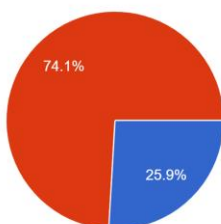
57. レクリエーション
27 件の回答



60. スポーツジム補助費用
27 件の回答



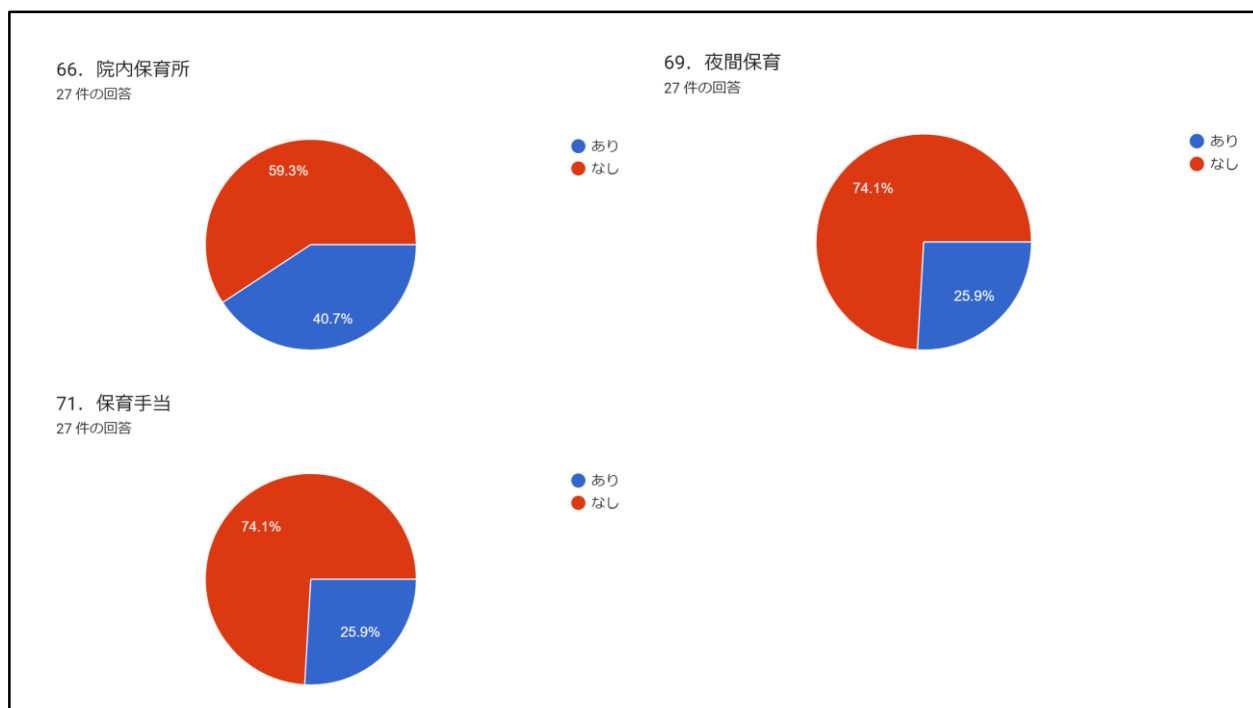
63. 余暇施設等割引
27 件の回答



レクリエーション44.4%が実施、忘年会などの会食やボーリング大会など。（委員会があるところもあり。補助額は3000円～10万円以内。）

スポーツジム補助18.5%実施。（補助金は月500円、割引券や契約施設での会員価格利用。）

余暇施設等割引25.9%あり。（補助額はさまざま。）



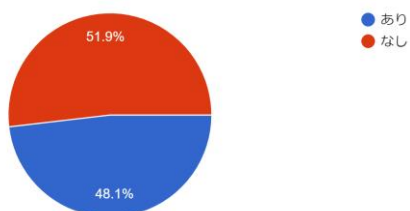
院内保育所は、40.7%設置。
補助額は預ける人数や年齢で違っているという回答あり。

夜間保育は、25.9%実施。
保育が週1回のみのところもあり。1回の保育料は1000円という回答がありました。（夕食200円。朝食は150円。）

保育手当、25.6%
金額は3000円～全額支給と額はさまざま。
（内容の詳細は病児保育に対しての料金の補助、0～6歳の保育料の40%を補助、学童料金40%を補助、就学前の子供一人につき3000円支給。）

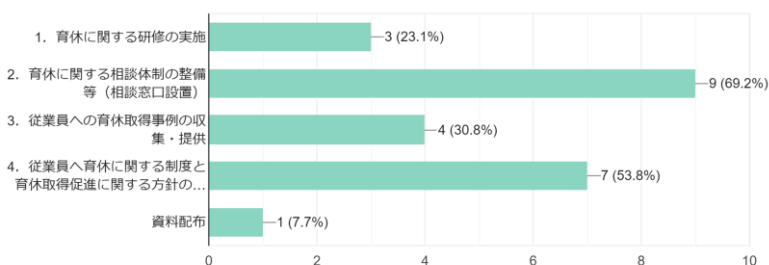
89. 「男性育児休業 取得促進対策」

27 件の回答



90. 内容の詳細をお答えください

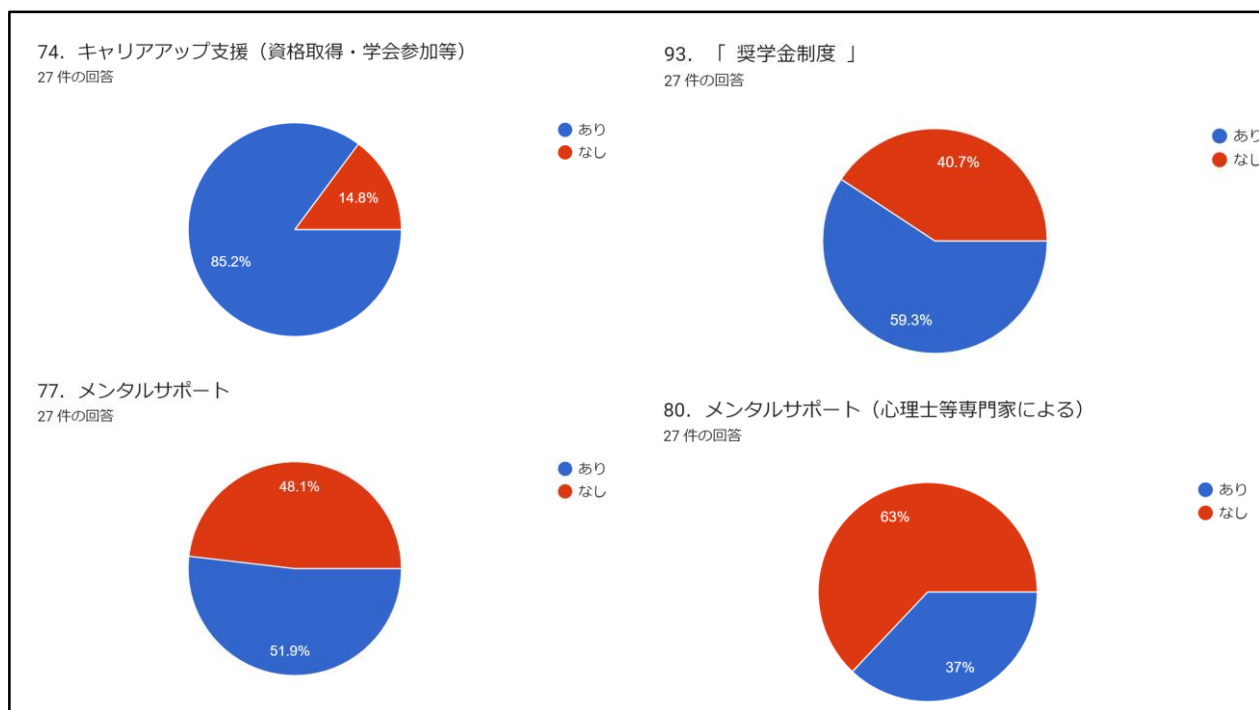
13 件の回答



男性育児休業取得促進対策は約半数の施設で実施。

相談窓口の設置、育児に関する研修を実施。

（実際に取得しているスタッフがどの程度であるかは、今回のアンケートでは調査していない。）



キャリアアップ支援は、85.2%実施。

取得する資格や受講場所によって支給額が異なる。（支給額は日当3000円～全額支給と様々。金額補助の条件としてレポート提出あり。）

奨学金制度は、59.3%であり。

准看護師、看護師学校に対しての補助金が主であるが、返済は卒業後に働いての返済となっています。

（奨学金として、平均月5万円であった。）

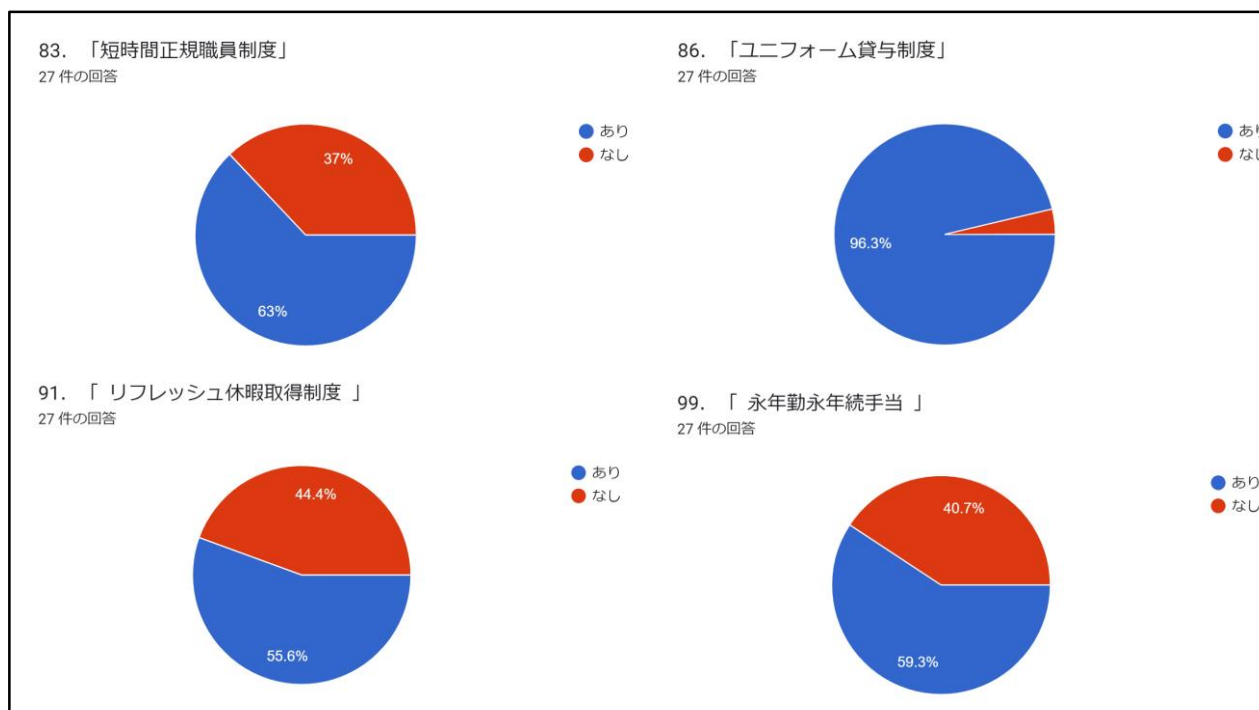
メンタルサポートは、約5割で実施。

月に1～2回専門家来院、その中で新採用者には時間を取り一回は受けてもらっているという工夫をされていた。

（外部の専門家に委託せず、院内の相談窓口を設置している施設もあり。）

専門家のメンタルサポート、37%実施。

（臨床心理士による面談は月に1回希望者のみ実施している。ストレスチェックで必要とみなされたスタッフは院内産業医による面談。）



短時間正規職員制度、63%が採用、3歳までの時短勤務制度が多かった。（就学前まで、夜勤免除されている病院は少ない。）

ユニフォーム貸与、96.3%あり。ほとんどの病院がレンタルでのユニフォーム支給。（平均3～5枚、支給頻度は1～2年に1回が最も多く、「なし」の施設もあった。）

リフレッシュ休暇制度、約5割があり。ありと回答した施設では、連続休暇を取得しやすい対策を講じている病院が多かった。（有給以外に特別休暇が設置されている施設がある。）

永年勤続手当、約6割があり。勤続年数に応じて、ほとんどの病院が10年、20年の節目に5万～10万円の現金支給。（記念品、旅行または旅行券の支給、特別休暇の取得）

まとめ

今回は、県南支部各施設における法定外福利厚生の実態調査を行った。

自己研鑽として、キャリアアップ支援、奨学金制度、働き続けるためのメンタルサポート体制は整備されていた。

一方で看護の現場は、女性の多い職場であるが、子育てをしながら働き続けるうえで必要な院内保育や夜間保育、保育手当がある施設は25～40%であった。

男性育児休業促進対策も5割を切っており、育児に関する福利厚生は十分とは言えない。今後、さらに職員が能力を最大限に発揮できる職場を目指して、育児支援をはじめ、法定外の福利厚生の充実が望まれる。